

ドイツ日本研究所 六ヶ所村を訪問

再生可能エネ
施設を視察

日本に関する研究を手掛ける「ドイツ日本研究所」



戸田衛村長(右)と六ヶ所村の政策について意見を交換するフランス・バルデンベルガー村長(中央) 13日、同村役場

(東京)のフランス・バルデンベルガー村長らが13日、六ヶ所村を訪問し、風力や太陽光などの再生可能エネルギー関連施設の現状を見て回ったほか、村役場で戸田衛村長と村の各種政策について意見交換した。

同研究所はドイツの学術文化団体で、現在は日本国内の地方自治体の将来をテーマに研究しており、再生可能エネルギーの振興や高齢化などがもたらすさまざまな影響を自治体ごとに比較検討しているという。

今回は第三セクター・新むつ小川原(東京)の紹介を受け、核燃料サイクルだけでなく、さまざまなエネルギー産業が立地する同村への視察を決めたという。

村長との懇談後、バルデ

ンベルガー村長は取材に対して「原子力に依存せず、再生可能エネにも取り組んでいるのが印象的だった」と語った。今後、同村の在り方を事例の一つとしてまとめる方針だという。視察は14日も行う。(藤村大地)